DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号　186119

エポオール#40下塗

1．一般名　変性エポキシ樹脂塗料下塗　A・B

2．規格　鋼道路橋塗装用塗料標準（2014）

3．特徴
1）素地調整が動力工具処理(ISO St3)でもすぐれた付着力と防錆力を発揮し、ブラスト処理が不可能な場合に適している。
2）無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。
3）エアレス塗装時の作業性にすぐれ、厚塗り塗装が可能である。

4．塗料性状

項目		内容			
容姿		2液性			
荷姿		20kgｾｯﾄ（主剤17.0kg、硬化剤3.0kg）			
色相		赤さび色、グレー、ライトグレー			
密度(23℃)	塗料	1.34（グレー）			
	揮発分	0.86			
加熱残分		68%（グレー）			
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	4時間	2時間	1時間	40分
	半硬化	20時間	15時間	10時間	6時間
標準膜厚		60μm			
引火点		ＳＤＳ参照			
発火点		ＳＤＳ参照			
爆発限界(下限~上限)		ＳＤＳ参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5．塗装基準

項目		内容			
素地調整*		動力工具処理 ISO St3			
調合法		主剤85部、硬化剤15部（重量比）			
可使時間*		5℃	10℃	20℃	30℃
		5時間以内	8時間以内	5時間以内	3時間以内
温度・湿度制限*		気温：5℃以下、湿度：85RH%以上			
塗装方法		刷毛塗り、ローラー塗り、エアレス塗装			
使用シンナー		エポオールシンナーＡ			
塗装法	塗装方法*	刷毛、ﾛｰﾗｰ塗装	エアレス塗装		
	希釈率*	10%以下	20%以下		
	標準使用量*	200g/㎡	240g/㎡		
	目標膜厚*	60μm	60μm		
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	125μm	125μm		
エアレス塗装条件		1次圧0.4MPa(4kg/cm²)以上、2次圧12MPa(120kg/cm²)以上			
		ﾁｯﾌﾟ No.163-517～721			
塗装間隔*(20℃)	最小	1日			
	最大	10日			

注）＊は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6．施工上の注意

(1)被塗面の油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
(2)使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違うと十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
(3)主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
(4)余り塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終るようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
(5)希釈には必ずエポオールシンナーＡを使用すること。
(6)塗装終了後の使用機器は直ちにエポオールシンナーＡで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7．関連法則

	主剤	硬化剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照
劇物表示	―	―

8．使用上の注意［警告］

(1)安全情報に関する内容は、ＳＤＳをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2024.11

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。